





僕の顔を
覚えているか？

あ……？

!!

お前……
ムクチャか!!

そっだ!!

そこに貴様が
現れた……!!

!?

おいおい……

俺はたまに
顔を出してただけの
ただの同業者だぜ!?

ふざけるな
ツ!!!

お前に復讐される
謂れはないだろ!?

驚いた……
アイツのところは
「赤い月」でみんな
死んだもんだと
思ってたが……

僕自らの手で
始末できなかつたのは
今思い出しても
腹立たいが……

だが……

よくも
ぬけぬけと……っ

貴様が僕に
何をしたか……

忘れたとは
言わさんぞ……!!



こんな時まで
だんまりは
無エだろうよ

おいおい
ムクチよお...



おいって
動くなって



喘ぎ声上げて
ご主人様を
喜ばせるのも
大事な仕事だぞ？

せっかく
ここの具合は
良いんだしよ



こうして俺が
わざわざ仕込んで
やってんだぜ？

愚図なお前でも
そういう需要は
あるだろうからよ



可哀相だと
思ってたんだぜ？
俺も...



見るたび
殴られて
ばっかだよ

お前だって
早く出たいだろ？
こんなとこ



いや、俺って
優しいねエ



……っ
!

これから
お前の弱いとこ
全部開発して
やるからよ

おっ
弱点みつけ

アァッ
ドッ

立派になって
気にかけてた俺も
嬉しいよ……

おーおー……
まるで別人
じゃねーか

ベレト
だっけ
今は……?

でも
復讐ねえ……
果たして
お前さんに
できるのかね

立派な性奴隷に
なれるよう
頑張ろうな

そんな
震えた脚で

このベレトを
慰み者にした
報い……

一時も
忘れたことは
ない……!!

今こそ
その身で
受けよ……!!

あれから貴様に
味あわされた
屈辱の数々……

まだ抜かすか
っ

は？



そんなのー

当然
決まってる
よな？

俺たちがいつも
してた事なんて
一つしかない
もんなあ？



なっ
……

うんうん
分かるよー

なかなか
拭えないよなー

植え付けられた
長年の習性
ってやつは



「赤い月」の所為で
中途半端になってた
ところだからよー

丁度
良かった



……？

何を
する……？

バカな……

あ……

今度は最後まで
きっちり調教して
やるからな

……っ!!

再開を祝して
一回イっとくか

我が怒りをぶつける
絶好の機会であると
いうのに——っ!!

勿論
ここもな

×ギドの力を
取り戻した
今の儂ならば…

こんな男：
どうとでも
なるはず…!!

それなのに…

なぜ体が
竦む!?

ククク…
これからもっと
可愛がって
やるからな…

ペーレト
ちゃん…♡

す…
す…



どうだ？
このヌルヌル感が
堪んねえだろ？



昔 あいつの
所有物だった頃は
あんま勝手
できなかったがー



今は晴れて
自由の身だもんな



まあー
聞いてちゃ
いねえか



最近はどこも
奴隷の扱いに
厳しくてよー…

こんな辺境で
コソコソ調教
しなきゃいけない
くらいにな

まったく…
奴隷商には
辛い時代だぜ

お前も
そう思うだろ？



もちろん
乳首もな



思う存分
調教できる



何回も…
何回も…



敏感な部位こそ
馴染むよう
何度も丹念に
塗り込まないと



感度抜群の
敏感乳首に
仕上げてやるよ

クソ…っ
変なものを
塗りたくりおって
……!!

本来であれば
貴様らなど
……っ!!



この特製の媚薬で
全身くまなく
コーティングして
やるからなく♡



身を振っても
意味ないってのw

あれ？何その
反抗的な目つき



おい



！

塗り残しがないよう
割れ目の奥にまで
しっかりとな



おは

おは

おは

おは

てつきり
自分の立場を
思い出したかと
思ってたけどな...



!?

こりや徹底的に
やり直さないと
駄目だな

手が行き来する
だけで
凄まじい快感が
襲ってくる...!!



それが絶え間なく
続いて...!!

駄目だこれは
到底

おは

おは





そうとは知らず
悪かったな

グキョウ
グキョウ
グキョウ



なるほど！
見上げた
心構えだなく…

ぬわ
ぬわ

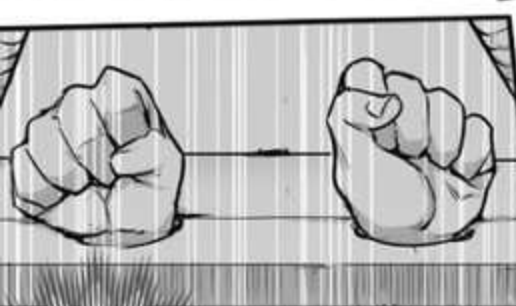


ハハハ 腰
引きすぎだろW
逃れたくて
必死かよ

チビッ



チビッ



本来ならば
貴様らなど…!!!

お詫びに思いっきり
ふっかいアクメを
くれてやるからよ
くそお…!!!

不死者の力を
持ってすれば…!!!

こんな
拘束など—



バーカ これは
突き出してんだよ

「どうぞお尻も
虐めてください」
ってな

何を言ってる



期待には
応えないとな

かじ



それなのに——っ!!



儂は気を失って
おったのか…?



暗い……
いや……これは
目隠しか…?



……!?
身体も
動かせん
……!?

儂は今……

どうなって
おるのだ……!?



空気の揺らぎを
敏感に感じ取る
くらいにな

拘束されて
いない部分
!?

反面—
守られていない…

露出した部位は
身を守るべく
神経を研ぎ澄ませる

ヴィータの
身体ってのは
不思議なもので

肌を何かで
覆ってやると
その状態に慣れ
それが当たり前だと
思うようになる

危険を
察知すべく…

緊張を
保ちながら…

周りの情報を敏感に
感じ取ろうとする

くっ…ただの
隙間風でさえ
芯が疼く…

触覚しか頼りに
できない状態なら
尚更な

気を逸らさねば
マズい……!!

そっ—

これも
不思議なもので

そこに意識が
向いてしまう

意識しないで
おこうと
するほど

……っ!!

ドキッ

「無視しよう」って
思えば思うほどに

より深く
より深く
より強く

そこから
送られてくる
情報を敏感に
感じ取ってしまう

ハハハ!
ほんとに
触られずに
イキやがった

普通はもっと
調教を重ねて
やっとイけるように
なるもんなんだが...

やっぱりお前
才能あるよ

お...
おのれえ...!!

ハッ

ツ!!!

ムッ

そんな
変態マゾ奴隷に
ご褒美だ

いった直後の
敏感乳首を
弄り回してやるよ

!?

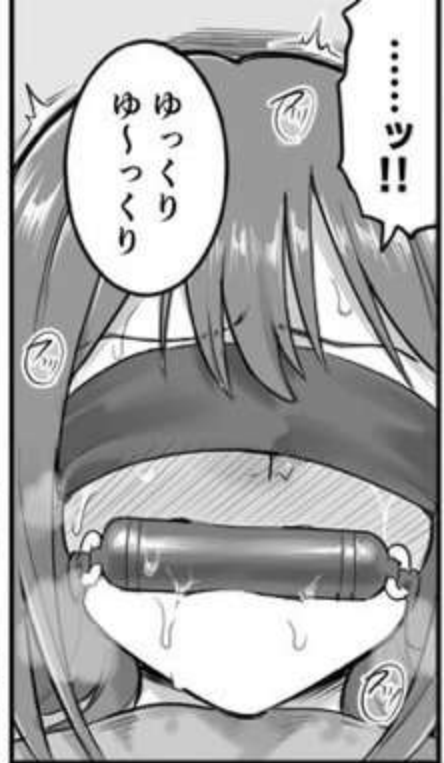
安心しろって

目隠しされてる
お前にも分かるよう
ちゃんと逐一状況を
教えてやるから



!!

ほくら
下りてく
下りてく



……ッ!!

ゆっくりり
ゆっくりり



だけど着実に
確実に迫って
いってるぞー!

ス……ッ



焦んたって……
距離も
5cm……4cm……

黙れ

どんだん
近づいてるぞー!



おーおー……
こんなに
尖らせちまって……

期待してん
のか?

黙れ



ほらー!
もうそこだぞ?
すぐ傍に気配を
感じるだろ?

黙れ……!!!



「3・2・1」で
触るからな?

ちゃんと
イクんだぞ?

黙れ黙れ
黙れ……!!

くそっ……!
こんな言葉に
耳など貸すな……!!



言葉も
一緒だな

無視しようとして
すればするほど

強く意識
してしまえ

!!

「3」

駄目だ……

「2」

逃げられない……

「1」

この言葉
からも……

ト……ド

この快感
からも…!!



翌日

ほらほら
どうした〜?

早く振りほどかないと
またさつきみたいにな
いかされちまうぞ?



…よし!

よしよし
お預け喰らった分
たっぷり
触ってやるからな

遠慮せず
たくさん
イけよ

これで服も着れない
全身性感帯ボディの
完成だな

すりすり

ハハ…
嬉しいからって
そう暴れるなよ

本来で
あれば…

メギドの力を
持ってすれば…

びる

まーた
始まったよ

貴様ら
など…っ





せっかく
口枷外して
やったんだ

そんな
下らない事
喋るより
もっと喘げよ

ほら言ってみて？
「イク〜♡」って

誰が
言うか……ッ

抵抗しようとする
無意識に力に
セーブがかかる……!!



わかった
わかった
いいから
さっさと
イクって



言うの
何回目だよ
もう飽きたわ
その設定



いいから
言えって

抵抗しても
どうせ最後には
イカされるんだから

これほどの恥辱を
与えられてなお……

さっきから
散々やられて
いい加減
分かったら？

刻まれた記憶と習性が
それを許さぬとは……!!



なら何回も
イってんじゃ
ねえよ！
見ろよこの
粘ついた汁

くそお……





じゃあ続き始めるか

のじっ



はア!?

あー...?

今日はこれで終わりと...っ

何を言っておる!! 約束が違うぞ!?



なんだその口の利き方は!?

てめーが勝手に勘違いして勝手にブライド捨てただけだろうが!!

責任転嫁も大概にしろ!!



おっきの態勢は

だから終わりにしてやったじゃねえか

ぼっ...



そんなフザけた理屈があるかっ!!

儂を虚仮にするのも...っ

ぐちゃぐちゃ

そもそも!!

奴隷の分際で約束がどうかよく言えたな!!

約束つてのは対等な者同士で結ばれるもんなんだよ!!



オマンコ穿られながら自分の立場を思い出してる!!



これで膣内を
穿り回してやれば
「ムクチ」なんて
呼ばれてたお前も
本気汁まき散らして
喘ぎまくってたよな？

負ける
ものか…



…ふん！
以前の僕と
同じだと
思ったら…
大間違いだ！！

負ける
ものか…
こんな者
たちに…！！



いった直後の
トロ顔見せるのも
性奴隷の務め
だろうが…！！



…っと！
なに頭
下げてんだ



何が
違うって？

—で



悔しさと
情けなさが
ブレンドされた
良い表情だな
でもまだ
こんなもんじゃ
ねえぞ？



こいつら…つ
ごまで僕を
馬鹿にすれば…



ほら
懐かしい
だろ？
これ

！！





じゃあずっと
追いかけて
媚薬塗り続けて
やるからな

めいめいめい
おすて



くそっ…
やめろっ!!

動けない中も
必死に腰クネクネ
させて
涙ぐましいね〜

かっ



ほら人に
おねだり
した以上は
きっちり
いくんだぞ?

ふざけるなっ
僕は
そんなこと
してなどお…

なりなりなりなりなりなりなりなり



こんな小さな突起を
少し撫でられただけで

全体からすれば
ほんの僅か…



無駄な努力しながら
クリアクメ決める

ウィータの
身体は…
なぜ
こんな作りに
なっておるのだ
…!!?



そこは心配
いらなにか

触られずに
イけるくらいだ
もんな

おすて

おすて



思考が快感に
焼き切られる
!!!



となると陰核も
弄ってやらないと
不公平だよな

待っ…
おすて

おすて



僕の怒りが…



こんなことをしても…



怒りが

泣き叫びながら
イけ



まあ…
ずっと奴隷で
教養のない
ベレトちゃんに
言うのも酷な話か

このっ



さっきから
それしか
言わねえなあ…
もっと語彙を
増やさないと
ご主人様が
飽きちまうぞ？



おのれ…っ
反論しようとする
と必ず
遮られる…！
僕に屈辱を与え
反応を引き出し
それを踏みにする…



ここで
再開…っ



下衆なヴィータの
考えそうな
ことだ…！
気持ち良いとこ
全部同時に
責めてもらえて
嬉しいだろ？

そんなことをしても
僕の怒りがますます
膨らむだけだ…！！



何をした?



うっはは
すげー音

これ見よがしに
尻突き出して…
次はバックで
責めてほしいのか
やっとなんか
素直になつてきたな



尻突が—!?

怒りの
代弁者たる—



怒りをぶつける
ことより—

逃げることを
選んだのか…!?

逃げた!?

憎き者どもを
前にして…!?



メギドの儘に
このような
屈辱的な格好
で…ッ!!

くそっ…!!
放せっ!!



よしよし…
尻穴でもちゃんと
イケるように
媚薬塗つといて
やるからな



なに呆けてんだ?
まだ終わって
ねえぞ



おおおお



くそ……っ!!
儘を何だと
思っている!!

はは
めっちゃ
暴れてん
じゃん



ヴィータの
分際で
このような……!!

力を使えば
貴様らなんぞ……!!

いや 所詮は
ガキの力だし
問題ねーよ

手伝うか?

この……っ
聞いて
あるのか!?

それより
腹が減って
きたわ

たしかに
今日は朝から
ずっとだしな



いや……

ガクーン

本番前にちょっと
慣らすつもりが
つつい
やりすぎちゃった



おのれえ……!!!

貴様ら絶対に
許さん——っ!!!



そうそう

尻を叩かれたら
すぐ腰を上げる、

よく憶えてる
じゃねえか



なにせ遅しく
恐ろしい「メギド」
だもんな？

あ……

もう……
体に力が
入ら……な……



途中で
へばらないと
いいけどな

大丈夫だろ

なあ
ベレト？



今のは違

違わねーよ



御主人サマを
待たせんじゃ
ねエよ!!



オイ！
いつまで
へばってんだ

名前を変えようが…
メギドだなんだと
抜かそうが…

染みついた習性が
物語ってるだろ!!

お前は無理矢理
チンポ突っ込まれて
喜ぶような
マゾ奴隷なんだよ!!

ばちゅん

そんな事
など…

無い…っ

ばちゅん

ばちゅん

それを証拠に
どうだ
この三日間!?

怒った態度
取ってたって
反抗的な言葉
並べてみたって

ちよいと体を
弄れば

無様に
喘いで

何度もイキ
散らす…!!

それがマゾ奴隷
じゃなくて
何だっつてんだ!?

生喘

生喘

生喘

生喘

そんな事など…

そんな…



快感が…

大好きなっ

ちゃんっ

ベルト
ちゃんのっ

チンポでっ

貴さっ

落ち着け

って

そんな
喚かなくてもよお

一突きされるだけで
意識が飛ぶ……っ

凄まじすぎる……っ♡

クソ雑魚マンコの
弱いところ全部
延々ほじくって
やるからさあ

ほっおおっ

ゴッゴッ

お前の弱点なんて
昔の時点で全部
把握済みなんだよ!!

次は一番弱い部分
抉ってやるから
ちゃんとイケよ!?

奴隷の記憶に
刻まれた
『恐怖』に…!!

性奴隷に相応しい
特大の屈服アクメ
をな!!

これに懲りたら
二度と逆らうんじゃ
ねえぞ!!

ヴィータの身体に
与えられた
『快感』に…!!

分かった
な!?

メギドとしての
僕の『個』が…

『怒り』が…

踏みにじられて
いく……!!

俺が全て否定される——っ!!!

分かったら
さっさとイけっ!!!



お?

飛んだか?

プツッ

まあ：
こんなんじゃ
終わらせない
けどな

オラ！
起きろ！

数週間後

いやー…

ベレトも
ついに
出荷か！
名残
惜しいねえ

まあ昨日の夜に
たっぷり最後の
お別れは済ませたし
晴れやかな気持ちで
送り出してやろうぜ

そうだな

じゃあなベレト
新しいご主人様の
ところでたくさん
可愛がってもらうんだぞ



ふう…



交代しながらでも
流石に夜通しは
キツかったな…



昼は休んで
夜に備えようぜ

今度は
調教の甘かった
クリトリス中心
だな

楽しみだなあ？
ベレト

